

さらなる時代の扉をひらけ  
札幌学院大学  
創立50周年



Sapporo Gakuin University

# 学園広報

1996. 3. 1 No.63

編集・発行 札幌学院大学 企画調査室  
〒069 北海道江別市文京台11番地  
電話 (011) 386-8111

## 新校舎の工事順調に 完成まであと9カ月



学園広報第六十号でお知らせした新校舎の建設は、昨年四月二十六日に起工式を行った。その後工事は順調に進み、一月二十日現在E館(教室棟・F館(学生会館)仮称)については約四〇%、G館(厚生施設)仮称については約二六%の進捗状況となっている。E・F館は鉄筋コンクリート造の構造となっているため、まだ全体の外観は現れていないが、G館については鉄骨鉄筋コンクリート造であり、既に全体の骨組みができてきている。昨年八月下旬に鉄骨の組立を開始し、およそ二カ月の工期を要して鉄骨棟上げが完了した。

### 大学の木



SAPPORO GAKUIN UNIVERSITY

### 大学の花



SAPPORO GAKUIN UNIVERSITY

G館は地上五十五mの高さがあり、食堂となる最上階の八階からは、江別・札幌を展望できる他、野幌森林公園にある百年記念塔の裾まで見ることができ、遠く離れた所からも校舎を見ることができ、大学のシンボルとなる建物として期待が寄せられている。

### エース 木村 康一君 軟式野球部

## 日本選抜で台湾へ

「守りの野球」開花  
堂々の初優勝!



昨年(春季)秋季一部リーグ戦でいずれも準優勝に終わった軟式野球部。「今年こそは優勝」を宣言し、春季リーグ戦に挑んだものの、結果は3勝2敗という成績で3位に終わった。

雪辱戦となった秋季リーグ戦では、守備力アップに重点を置いて練習を重ねたことが功を奏した。

初戦で宿敵北海学園大学を完封し抑え、好調なスタートを切った。その後も投手の木村康一君(商学部三年)を中心に堅実な守備で、5試合を通じて失点1と、目標である「守りの野球」を現実にし、無敗の4勝1分けで悲願の初優勝を成し遂げ、「東日本大学軟式野球選手権大会」の第一出場権を獲得した。

その東日本大会では、東関東地区2位の日本大学経済学部と惜しくもサヨナラ負けを喫し、初戦の壁を突破することとは出来なかったが、常勝校力投したエース木村君(商学部三年)が、

また、エースの木村康一君は、道連盟における最高殊勲選手賞一回、優秀選手賞二回、敢闘賞一回という実績が高く評価され、「台湾親善野球大会」の全日本代表メンバーに選抜された。その遠征試合では、相手台湾チームを6イニング無失点に抑える力投をみせ、全国レベルの力を実証し、道内の大学軟式野球界に明るい話題をもたらした。

来期は、地元江別で全国大会が開催される。軟式野球部の益々の活躍に期待したい。

開会式で堂々と入場行進をするナイン

## マスコットキャラクター



平成五年十一月に設置された創立五〇周年記念事業企画委員会(委員長・山本武理事)では、教職員・学生・同窓生を始め多くの学園関係者から寄せられたご提案及びご意見について慎重に検討を重ねた結果、昨年十二月二十一日に「創立五〇周年記念事業の企画に関する報告」として取りまとめを行いました。この報告に基づき、二月二十八日開催の理事会・評議員会において「学校法人札幌学院大学創立五〇周年記念事業」として正式に決定しました。

平成五年十二月(大学として当然に実施すべき事業)として確認(平成五年十二月十日・学園広報第五十六号)され、既に準備に入っている事業を含め、今回、最終決定された記念事業の概要は次のとおりです。

- 1 五〇周年記念の準備事業として行い、広く広報等に活用するもの。
- 「統一テーマフレーズ」及び「シンボルマーク」の制定
- 五〇周年記念事業として行うもの。
- ①「記念式典」及び「記念祝賀会」の開催 ②「五〇年史」の刊行 ③「五〇年写真集」の刊行 ④厚生会館(仮称)学生会館(仮称)及び教室棟の建設 ⑤「エンブレム」(標準)の制定 ⑥「マスコットキャラクター」、「花」及び「木」の制定

⑦記念植樹の実施 ⑧「五〇周年記念論文集」の発行 ⑨五〇周年記念学術シンポジウム(の開催) ⑩五〇周年記念学術講演会及び地方講演会の開催 ⑪学生の諸団体の記念行事に対する支援 ⑫同窓会の記念行事に対する支援

本学「花」、「木」及び「マスコットキャラクター」は、創立五〇周年記念事業実施本部では、昨年十二月二十一日に連発第二回目の会議を開催し、エンブレム等制定委員会(委員長・鮫島和子)から報告のあった大学の花・木及びマスコットキャラクターのデザイン等について審議を行いました。その結果、委員会の報告どおり、大学の花には「キタコブシ」、同じく木には「エゾマツ」、マスコットキャラクターには「エゾリス」を決めました。

本学では、昨年の秋に国道二号線の角地に創立五〇周年を表示した看板を設置いたしました。これは、本学が建学から半世紀の歴史を積み、二世紀にむかっていることを多くの方々に知って頂くことを目的として、先に公募で決定された五〇周年記念の統一テーマ及びシンボルマークをメインに据えて、半世紀という歴史の重みに基づき、新しいデザインに仕上げました。

大学入口(国道12号角地)に看板設置

## 50周年記念事業企画決まる

大学の花・木・マスコットも選定  
(キタコブシ) (エゾマツ) (エゾリス)

定いたしました。これらはいずれも本学の周辺で見かけることができ、北海道に馴染みの深いものという視点で選定されたもので、今後、本学の広報等に「役立」ものと大きな期待が寄せられています。

大学入口(国道12号角地)に看板設置

本学では、昨年の秋に国道二号線の角地に創立五〇周年を表示した看板を設置いたしました。これは、本学が建学から半世紀の歴史を積み、二世紀にむかっていることを多くの方々に知って頂くことを目的として、先に公募で決定された五〇周年記念の統一テーマ及びシンボルマークをメインに据えて、半世紀という歴史の重みに基づき、新しいデザインに仕上げました。

## 図書館AVコーナー大人気



先ずの大学設置基準の大綱化において、大学図書館が系統的に収集する資料は、従来の図書、学術雑誌の他に視聴覚資料がつけ加えられ、各大学で整備がすすめられていきました。

他大学では既にほとんどの図書館にAVブースが設置されており、どのような資料が利用されているのかについても結果が出ています。早稲田大学では映画の利用が七〇%、成城大学でも八割以上を占め、なかでも洋画の希望が圧倒的とのことでした。

以上の調査に基づいて昨年十月、閲覧室にAV視聴室コーナーを開設し、十八日から利用を開始しました。映画やクラシック音楽などを中心に

六〇〇枚のレーザーディスク、そして五〇〇枚のコンパクトディスクが備えられ、学生に大好評を博しています。

開設以来、一カ月の利用は八〇〇人を超え、一日平均十九件、三十一人が鑑賞して映像用AVブースはほとんど空きのない状態です。利用の七割は映画で、「スピード」「シンドラーのリスト」など最新の話題作が観られているようです。

また、朝日新聞や学術論文、法律文庫・判例などのCD-ROMも整備されています。これらは館内利用に限られますが、卒業生、そのご家族の方にもご利用いただけます。お気軽に図書館にお越し下さい。

# 欧州統合の過程と展望 クラウス・ヒンケ氏を迎え

英国・クラフフィールド経営大学院のクラウス・ヒンケ氏(以下「ヒンケ氏」)を迎えて、「欧州連合(EU)」の発展、到達点、現在の争点、そして展望」と題する札幌学院大学文化講演会が十月十三日、札幌学院大学D館一〇一教室で開かれた。

蔵田商学部長の挨拶の後、ヒンケ氏は、参加者に日本語で自己紹介と挨拶をした。これには会場から大きな拍手がおこった。



ヨーロッパは、激動の時期にある。ヨーロッパの各国は、欧州統合の過程をさらに強固にしようとするか、それとも弛めるのかに、大きな関心をもたれている。そういう中で講演したので、一五〇名を超える参加者が熱心に聞き入っていた。

氏は、「欧州統合」はもう「あとどれくらい」といって、それは「ヨーロッパ経済と企業」の長期的な利害があるから、だと分析され、現在の評価について「多くの政治的経済的の成果をもたらしてきているが、」との見通しをいわれた。

## 文化講演会

### 心理臨床家から見た 現代の青年

十一月六日、札幌学院大学心理臨床センター開設記念講演会がD館一〇一号教室で開かれた。講師には日本の心理臨床家として知られた心理臨床家であり、わが国の心理臨床分野における有力なリーダーの一人である京都大学教育学部教授、山中康裕先生(以下「山中先生」)が実施された。



当日は人文学部人間科学科の学生、関連分野の教員の他に、学外の心理臨床家および一般社会人、約二八〇人が参加する盛況ぶりであった。

講演では、悩む現代青年の心のあり方について、最近起こった不可思議な事件を題材にした

真IIをお迎えし、標記の講演会が実施された。

当日は人文学部人間科学科の学生、関連分野の教員の他に、学外の心理臨床家および一般社会人、約二八〇人が参加する盛況ぶりであった。

講演では、悩む現代青年の心のあり方について、最近起こった不可思議な事件を題材にした

現代青年の心理としては、最初に仮想世界に引き込まれやすい傾向を指摘され、宗教についても知識としての底の浅さ、さらに「宗教(性)」の育ちの背景にあると述べられた。他者から見れば整った顔に見える男性が、「僕の顔は実に醜い！」と訴えた事例では、「彼の心には醜い自分の顔が映っていた点を重視され、心の投影が力のすゝも伝えられた。

講演終了後も、立ち去りがたい思いで互いに語り合っている聴衆の姿が印象的であった。

## 教員採用健闘 27名が登録

また、氏は「連邦主義の理想のもとで、もう戦争をしない、平和の追求をフレンドリ

「シツパの発揮」がなければ「欧州連合はたちゆかない」とを強調していた。

当日の通訳には、ティモシー・グロース人文学部助教授があたった。

平成八年度の北海道・札幌市の公立学校教員採用候補者選考検査の二次試験受験者は八千四百六十七人で過去最高となり、景気低迷による影響を強く映し出すものとなりました。

このうち登録者は二千五百人、受検率は三・四倍で平成元年度以降最高となりました。

このような厳しい採用状況のもと、学生の健闘により、登録者は、昨年度を十名上回る二千七名(卒業生十五名含む)になりました。このうち青森県他道外の登録者は六名でした。北海道での本学の登録状況を校種・教科別に見ると、高校



教員採用登録を目指し、教職特別講座を受ける学生たち

では高倍率になった公民四名(七・七倍)、商業二名(六・一二倍)、地理歴史三名(六倍)他、英語一名(三・一七倍)。

去る平成七年十二月七日に開催された学校法人札幌学院大学第一三三回理事会において、平成八年度札幌学院大学学費を公表の通り改訂することに決定しました。学費改訂が必要となった要因は、主として入件費の増加と資産運用収入及び手数料収入の減少にあります。これにより、平成八年度予算では、学費を改訂しなければ大幅な消費支出超過(赤字)になります。少なからずこれらの要因による減収が避けられないことから、何らかの恒常的収入源をもつてこれを賄わなければならないと見られています。

物価上昇が抑えられているとはいえ、全国平均の賃金上昇率が頭打ち状態であり、学費負担者の大幅な収入増が見込めない時期にあるにもかかわらず、学費値上げを提起することには、今後とも経営の節減に努めるとともに、特別補助等各種補助金の獲得に積極的に取り組み、学生父母の学費負担の軽減に努力する所存です。

## 学費改訂

去る平成七年十二月七日に開催された学校法人札幌学院大学第一三三回理事会において、平成八年度札幌学院大学学費を公表の通り改訂することに決定しました。学費改訂が必要となった要因は、主として入件費の増加と資産運用収入及び手数料収入の減少にあります。これにより、平成八年度予算では、学費を改訂しなければ大幅な消費支出超過(赤字)になります。少なからずこれらの要因による減収が避けられないことから、何らかの恒常的収入源をもつてこれを賄わなければならないと見られています。

物価上昇が抑えられているとはいえ、全国平均の賃金上昇率が頭打ち状態であり、学費負担者の大幅な収入増が見込めない時期にあるにもかかわらず、学費値上げを提起することには、今後とも経営の節減に努めるとともに、特別補助等各種補助金の獲得に積極的に取り組み、学生父母の学費負担の軽減に努力する所存です。

## PLU第1期派遣学生 7名渡米準備進む

平成八年度からスタートする米国ワシントン州タコマ市にあるパシフィック・ルーセラン大学での海外研修には二十六名が応募し、前期研修に参加することになった。

現地で世界から留学生と共に、アメリカ人学生との楽しい交流も計画されている。

五カ月間にわたる研修と異文化体験の成果である、飛躍的に向上し英語力と豊かな国際感覚を身につけて元気に帰国することを祈念したい。

予定の学生七名の渡米準備は順調に進んでいる。パスポート、ビザの取得、航空券の手配など国際交流センター職員の手配のもとで入念な準備が進んでいる。また、一月末には事前研修講座が二日間、にわたって開催され、センター所員の宮町教授が米国での学生生活に触れ、特に危機管理と自己責任意識について学生の注意を喚起した。

現地では三月二十一日から授業が始まるため、成田を三月十九日に発ち、ホスト・ファミリーに滞在しながら英語運用能力を高め、アメリカ文化に対する認識を深める講座を受講することになる。現地では世界中からの留学生と共に、アメリカ人学生との楽しい交流も計画されている。

### 大学選書第5号を刊行

児玉 敏一著  
日本の経営とオフィスマネジメント  
—ホワイトカラー管理の形成と展開—

では、短期雇用の女子労働力がアメリカ的手法を接ぎ木しながら日本のオファスマネジメントを展開させてきた。本書は、事務機器の進歩やコンピュータと情報技術の進歩をわかりやすく解説しながら、事務労働の内容の変化を語りオフィスマネジメントの今後のあり方について示唆を与えている。しかも本書はイデオロギー、教育制度にまで立ち入った分析をして、縦横に解き明かそうとしている。また小池和男氏に代表されるような熱練論に対しても興味深い批判的視点を提供している。その意味で本書は、類書にない意欲作で、必読に値しよう。

(商学部教授 高木 浩)

### 1. 大学院法学研究科 (単位:円)

	平成8年度 新学費	平成7年度 現行学費	差額
入学金	200,000	200,000	0
授業料	780,000	756,000	24,000
合計	980,000	956,000	24,000

(入学金は、平成8年度入学生(1年生)のみ)

### 2. 商学部第一部・経済学部・人文学部・法学部 (単位:円)

	平成8年度 新学費	平成7年度 現行学費	差額
入学金	200,000	200,000	0
授業料	762,000	738,000	24,000
合計	962,000	938,000	24,000

(入学金は、平成8年度入学生(1年生)のみ)

### 3. 社会情報学部 (単位:円)

	平成8年度 新学費	平成7年度 現行学費	差額
入学金	200,000	200,000	0
授業料	983,000	959,000	24,000
合計	1,183,000	1,159,000	24,000

(入学金は、平成8年度入学生(1年生)のみ)

### 4. 商学部第二部 (単位:円)

	平成8年度 新学費	平成7年度 現行学費	差額
入学金	100,000	100,000	0
授業料	433,000	421,000	12,000
合計	533,000	521,000	12,000

(入学金は、平成8年度入学生(1年生)のみ)  
(注)第2学年以降の学費は、4年間の学費総額の上限を210万円の範囲内で改訂)

(注)第2学年以降の学費は、4年間の学費総額の上限を210万円の範囲内で改訂

### おこやみ

故根市 高志 先生  
札幌学院大学で通算十五年間、ご専門の英会話の授業を通じて本学の教養研究の発展に尽力いただきました。長年に亘り本学で果たされたご功績とご徳を偲び、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

### おこやみ

札幌学院大学で通算十五年間、ご専門の英会話の授業を通じて本学の教養研究の発展に尽力いただきました。長年に亘り本学で果たされたご功績とご徳を偲び、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

### '95就職戦線

## 厳しきのなか奮闘

### 目立つ女子の善戦

平成七年度就職戦線は、「超氷河期」と表された厳しい就職環境のもとに推移。採用中止を決めた企業も多々見られるなか、本学ではこの数年の求人件数の減少傾向に一定の歯止めをかけるべく、今年度は求人票の発送を大幅に増やした。昨年同期に比し百数件の求人申し込みを確保し(一九九五年十二月一日付広報第六十二号で既報)、学生の就職活動を支援した。

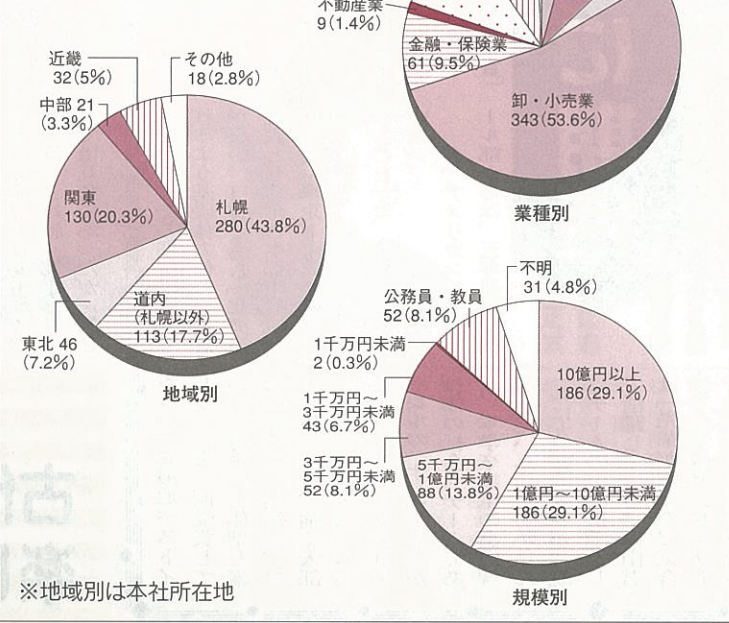
明年度も企業の採用活動が即座に好転するとは考えにくい。三年生にとっては、これまで就職課で実施してきたガイダンス等での指導の意味を理解し、意欲的、積極的に行動することが卒業を勝ち取る決め手にならう。

本格的な「厳選採用」時代を迎え、各企業の選考基準も厳しさを増し、人物本位に加え、筆記試験、論文・作文を取り入れるところが増え、面接回数も例年以上に重ねて志望動機の強度を見極めるなど、内定の結論を出すまでの間、慎重な対応姿勢が伺えた。

このように厳しい就職環境

### '95就職内定状況

(95年12月25日現在)  
総数 640名



## OB通信

### 文化財の保護・活用を支えて

田口尚



**プロフィール**  
昭和56年3月 人文学部人間科学科卒業  
昭和56年5月 札幌学院大学文化財センター勤務  
昭和57年7月 現職  
調査第1部 資料調査課主任  
低湿度地蔵の発掘調査と遺物の保存科学を中心に縄文からアイヌ文化期の木製品を専門とする。  
千歳市美々々8遺跡他道内多数の遺跡を発掘調査  
学会活動 日本考古学協会会員他

大学時代は、人文学部の新設とともに大学全体が激動していたのではな

来に向かっていた。まさに手探りの毎日だった。当時は世間に行き、文化財の保護及び活用を目的として、いま

の毎日です。文化財の保護及び活用を目的として、いま

の毎日です。文化財の保護及び活用を目的として、いま

の毎日です。文化財の保護及び活用を目的として、いま

の毎日です。文化財の保護及び活用を目的として、いま

の毎日です。文化財の保護及び活用を目的として、いま

の毎日です。文化財の保護及び活用を目的として、いま

の毎日です。文化財の保護及び活用を目的として、いま

の毎日です。文化財の保護及び活用を目的として、いま

の毎日です。文化財の保護及び活用を目的として、いま

の毎日です。文化財の保護及び活用を目的として、いま

の毎日です。文化財の保護及び活用を目的として、いま

の毎日です。文化財の保護及び活用を目的として、いま

の毎日です。文化財の保護及び活用を目的として、いま

の毎日です。文化財の保護及び活用を目的として、いま

の毎日です。文化財の保護及び活用を目的として、いま

の毎日です。文化財の保護及び活用を目的として、いま

## いま、巣立つとき

### 4年間を振り返って

### ゼミ活動が自信と誇りに

経済学部経済学科 小笠原 弘幸



私の大学生活において圧倒的に多くの時間と多くのパワ

私の大学生活において圧倒的に多くの時間と多くのパワ

私の大学生活において圧倒的に多くの時間と多くのパワ

### 新しい学問にチャレンジ

社会情報学部社会情報学科 鈴木 晴美



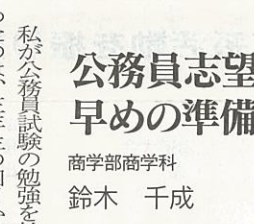
ついでに前入学したと思っ

ついでに前入学したと思っ

ついでに前入学したと思っ

### 公務員志望者は早めの準備を

商学部商学科 鈴木 千成



私が公務員試験の勉強を始

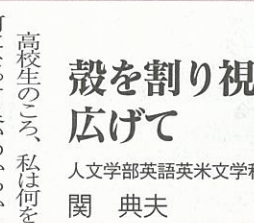
私が公務員試験の勉強を始

私が公務員試験の勉強を始

私が公務員試験の勉強を始

### 殻を割り視野を広げて

人文学部英語英米文学科 関 典夫



高校生のころ、私は何をし

高校生のころ、私は何をし

高校生のころ、私は何をし

高校生のころ、私は何をし

### 野村證券(株)内定

### 丸善(株)内定

アメリカンフットボール部  
**富山 宗久君**  
 オンワードオックス

社会人選手  
 に2名

硬式野球部  
**堀川 誠君**  
 JR北海道

# 創部5年目の快挙 全道の頂点に



日本学生氷上競技選手権道予選決勝(対室工大戦)では猛攻を見せ、全道の頂点に立つ

今シーズン創部五年目のアイスホッケー部が、日本学生氷上競技選手権北海道予選において、宿敵の室蘭工業大学を3-1で下し、全道初優勝の栄冠を勝ち取った。

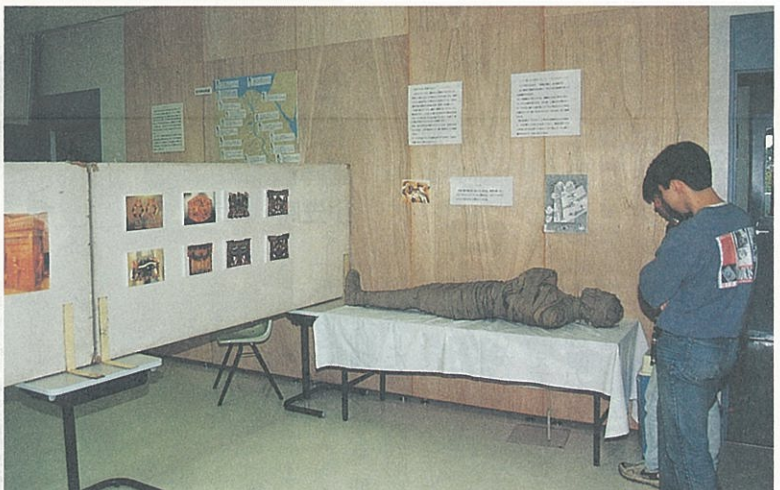
は公募制B(スポーツに優れた者の特別推薦)で入学した者が多く、学外コーチである元新王子製紙アイスホッケー部・松浦剛史氏の指導から、昨年八月の強化合宿での、元国土計画アイスホッケー部・細田秀夫氏の指導などが挙げられる。そして、何よりも部員がハードなトレーニングを克服し、技術面はもとより、心身の強化など、チームの総合力の一層の向上を図ってきたことが初優勝へ導いたと言える。

創部五年目で全道の頂点に立った要因としては、部員全員(現在二十三名)が高校時代からの経験者で、その中に

ピリオド以降では、チャンスを生かせないプレーとスタミナ不足が目立ち、2-5で敗れ、全国大会の壁の厚さを思い知らされた。部員からは「来年までにはもっと基礎体力をつけたい」と熱い意気込みが語られた。この屈辱をバネに、今後は全道上位進出を目標に着実にステップアップすることを期待したい。

## 考古学研究会 古代人類の文化を 楽しみながら探求

「縄文文化」の研究を基本課題として活動している傍ら、今年度は「縄文文化」を中心とした研究を行っている。毎週木曜日の定例部会で、各部員が独自に調査した



大学祭の展示発表に見入る見学者

資料を持ち寄り研究発表を行っている。時には各地の考古学博物館へ出向き、実際に遺物や遺跡を目にしながら研究レポートを作成している。また、毎年五月に行われる合宿では、研究活動の他、親睦を目的としたレクリエーションを行い、部員同士のつながりを一層強めている。

税を知る週間になんて「税を知るクイズ大会」が十一月十五日、江別市コミュニティセンターで開催され、江別市内の大学、短大五校から約二百名、本学からは畑山ゼミ・藤永ゼミを中心に五十六名の学生が参加した。

その活力ある研究成果を広めるために、他大学との交流や外部における展示発表を積極的に進めたいと話す。考古学研究という馴染みの少ないイメージに左右されず、考古学のすばらしさを理解してもらい、楽しい、魅力あるクラブになるよう今後の取り組みに注目したい。

また、クイズ大会終了後に「三沢諭司君が個人最優秀賞に」が増えることを期待したい。3年連続の団体優勝を喜ぶ学生たち。円内は個人最優秀賞を獲得した三沢諭司君(法学部2年)。

## 今後の活躍に期待



「全日本都市対抗野球のマウンドを踏みたい」と意欲を語る堀川君(人文学部)が決定したのは、硬式野球部の堀川誠君(人文学部)。粘りを身上とし伸びのあるストレートを武器にエースとして活躍、四年生の時には春季リーグ戦で「優秀投手賞」を受賞した。小学校四年生から続けた野球を大学卒業後も続けたいという強い希望から、JR北海道を熱望、大学での活躍や将来性を買われ、入部が決まった。

「北海道ベストイレブン」を二回受賞している。恵まれた体型と素質、輝かしい実績に、コーチ陣が注目、強く入部を勧められ決意した。

「縄文文化」の研究を基本課題として活動している傍ら、今年度は「縄文文化」を中心とした研究を行っている。毎週木曜日の定例部会で、各部員が独自に調査した

資料を持ち寄り研究発表を行っている。時には各地の考古学博物館へ出向き、実際に遺物や遺跡を目にしながら研究レポートを作成している。また、毎年五月に行われる合宿では、研究活動の他、親睦を目的としたレクリエーションを行い、部員同士のつながりを一層強めている。

その活力ある研究成果を広めるために、他大学との交流や外部における展示発表を積極的に進めたいと話す。考古学研究という馴染みの少ないイメージに左右されず、考古学のすばらしさを理解してもらい、楽しい、魅力あるクラブになるよう今後の取り組みに注目したい。

また、クイズ大会終了後に「三沢諭司君が個人最優秀賞に」が増えることを期待したい。3年連続の団体優勝を喜ぶ学生たち。円内は個人最優秀賞を獲得した三沢諭司君(法学部2年)。

「必ずレギュラーポジションを獲得したい」と闘志を燃やす富山君(経済学部)



「必ずレギュラーポジションを獲得したい」と闘志を燃やす富山君(経済学部)が決定したのは、ディフェンス(守備)の要として活躍した道内ナンバーワンのディフェンスライン(DL)の富山宗久君(経済学部)。センスの良さや圧倒的なパワープレーによりチームの中心的存在と

「先輩がいるので気合が入る。必ずレギュラーを獲得し試合に出場したい」と、闘志を漲らせている。

「縄文文化」の研究を基本課題として活動している傍ら、今年度は「縄文文化」を中心とした研究を行っている。毎週木曜日の定例部会で、各部員が独自に調査した

資料を持ち寄り研究発表を行っている。時には各地の考古学博物館へ出向き、実際に遺物や遺跡を目にしながら研究レポートを作成している。また、毎年五月に行われる合宿では、研究活動の他、親睦を目的としたレクリエーションを行い、部員同士のつながりを一層強めている。

その活力ある研究成果を広めるために、他大学との交流や外部における展示発表を積極的に進めたいと話す。考古学研究という馴染みの少ないイメージに左右されず、考古学のすばらしさを理解してもらい、楽しい、魅力あるクラブになるよう今後の取り組みに注目したい。

また、クイズ大会終了後に「三沢諭司君が個人最優秀賞に」が増えることを期待したい。3年連続の団体優勝を喜ぶ学生たち。円内は個人最優秀賞を獲得した三沢諭司君(法学部2年)。

### 1年間の体育系活動を振り返って

◎アイスホッケー部 '95札幌学生アイスホッケーリーグ 第68回日本学生氷上競技選手権大会北海道大会 第68回日本学生氷上競技選手権大会(釧路)	準優勝 優勝(初) 出場
◎弓道部 第42回全道学生弓道選手権大会 第41回全道学生弓道争覇戦	男子準優勝・女子優勝 男子(古嶋)・女子(吉本) 個人優勝
◎硬式野球部 札幌六大学春季・秋季1部リーグ	準優勝
◎ゴルフ部 '95北海道学生ゴルフ選手権大会 第49回日本学生ゴルフ選手権大会(千葉)	個人優勝(内藤) 出場
◎少林寺拳法部 第26回北海道学生少林寺拳法大会 第29回少林寺拳法全日本学生大会(東京)	総合優勝(2連覇) 女子二人掛の部 (板橋・工藤・西國組) 最優秀賞(3連覇)
◎卓球部 第65回全日本大学対抗卓球大会(東京)	出場
◎軟式庭球部 秋季全道学生ソフトテニス選手権大会 全日本学生ソフトテニス選手権大会(佐賀)	優勝(10連覇) 出場
◎軟式野球部 第2回北海道地区大学秋季1部リーグ 第16回東日本大学軟式野球選手権大会(栃木)	優勝(初) 出場
◎排球部(バレーボール部) 第28回北海道大学男・女2部リーグ	優勝[1部昇格]
◎パワーリフティング部 第40回北海道学生春季選手権大会 第22回全日本学生選手権大会(京都)	個人優勝(三浦) 個人出場(三浦)
◎羽球部(バドミントン部) 第46回全日本学生選手権大会(京都)	出場
◎ホッケー部 第44回男子全日本学生選手権大会(奈良)	出場
◎陸上競技部 北日本学生陸上競技対校選手権大会 第7回北海道大学駅伝対校選手権大会 第27回全日本大学駅伝対校選手権大会(熱田~伊勢)	総合優勝(初) 6年連続優勝 6年連続出場(23位)
◎カヌー同好会 第19回スラローム・第20回ワイルドウォーター選手権 第4回全道学生カヌー選手権大会	個人(真鍋)・団体優勝 個人(大西)・団体優勝
◎日本拳法同好会 日本拳法協会錬成大会	個人準優勝(山下)
◎応援指導部チアリーダー 第7回全日本学生チアリーディング選手権大会(東京)	出場
◎ワールドカップ(アメリカ・ヨーロッパ) フリースタイルスキー	1名出場(原)
◎第50回国民体育大会秋季大会(福島県) 陸上競技・ソフトボール競技・9人制バレー	5名出場
◎第15回道央三大学定期戦	総合優勝(8連覇)



札幌学院大学